

<教員免許状取得方法>



A

66条の6に定める科目

2023(R05)年度以降入学生適用

法令区分	授業科目	単位	科目区分	開講年次	成績
日本国憲法	日本国憲法	2	総合	1-2	
体育	体育実習	2	総合	1	
外国語コミュニケーション	英語1~4より2単位以上	2	外国語	1-2	
数学、データ活用及び人工知能に関する科目 又は 情報機器の操作 ※	数学、データ活用及び人工知能に関する科目 AIとサイエンス コンピュータリテラシー、コンピュータシステム、情報科学	2	総合	1-2	

※「数学、データ活用及び人工知能に関する科目」又は「情報機器の操作」より2単位以上選択必修

B

教育の基礎的理解に関する科目等

2023(R05)年度以降入学生適用

- 記号の説明** **必** … 教育実習参加条件科目 (かつ教免必修 ※p.21参照)
 実習前年度までに修得していない場合は実習に行けません。 ※詳細はp.15参照
- 科目区分説明** **専** … 学部の専門科目 **専・共** … 学部の専門の共通科目
教・資 … 教免・資格のための科目 (卒業所要単位にならない科目)
- 複数の免許を取る場合、同一科目を重複して履修する必要はありません。

第一欄	教科及び教職に関する科目	各科目に含めることが必要な事項	学 部				学 部		修得状況	
			授 業 科 目	単位	中1	高1	高1	科目区分	開講年次	修得年次
第二欄	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項 各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	※1. 次頁[C:教科及び教科の指導法に関する科目]欄を参照。	—	—	—	—	—	—	—
第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育基礎論	2	必	必	必	教・資	1	
		教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2	必	必	必	教・資	2	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行財政	2	必	必	必	教・資	3-4	
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2	必	必	必	教・資	2	
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育概論	2	必	必	必	教・資	3	
		教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2	必	必	必	教・資	3	
第四欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育の理論と実践	2	必	選	選	教・資	1	
		総合的な学習(探究)の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法	2	必	必	必	教・資	3	
		特別活動の指導法	特別活動の理論と実践	2	必	必	必	教・資	1	
		教育の方法及び技術	教育方法論(情報通信技術の活用を含む) ※2	2	必	必	必	教・資	2-3	
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	※2. 左記事項は「教育方法論(情報通信技術の活用を含む)」に含む。	—	—	—	—	—	—	—
		生徒指導の理論及び方法	生徒・進路指導論 ※3	2	必	必	必	教・資	2	
第五欄	教育実践に関する科目	教育実習 ※4. 中高向免許校種の受講登録者は「教育実習Ⅱ」(4単位)を履修修得すること。	教育実習Ⅰ(事前指導)	1	必	必	必	教・資	3	
			教育実習Ⅱ(事後指導を含む) ※4	4	必	選必	選必	教・資	4	
			教育実習Ⅲ(事後指導を含む) ※4	2	必	選必	選必	教・資	4	
		教職実践演習	教職実践演習(中・高) ※5	2	必	必	必	教・資	4	
第六欄	大学が独自に設定する科目 ※6 学校図書館司書教諭科目:受講登録者のみ履修可。 「学校図書館司書教諭」取得希望者は、5科目全て必修。		学校経営と学校図書館 ※6	2	選	選	選	教・資	2-3	
			学校図書館メディアの構成 ※6	2	選	選	選	教・資	2-3	
			学習指導と学校図書館 ※6	2	選	選	選	教・資	2-3	
			読書と豊かな人間性 ※6	2	選	選	選	教・資	2-3	
		情報メディアの活用 ※6	2	選	選	選	教・資	2-3		

※5.教育実習の単位を修得できない場合、単位は付与されない。

必・選必の合計単位数	31	27	27
-------------------	----	----	----



教科及び教科の指導法に関する科目

2023(R05)年度以降入学生適用

科目区分説明

専 門 … 学部の専門科目 専・共 … 学部の専門の共通科目
教・資 … 教員・資格のための科目(卒業単位にならない科目)

複数の免許を取る場合、同一科目を重複して履修する必要はありません。

中1 国語

高1 国語

高1 書道

中学校一種 国語、高等学校一種 国語、高等学校一種 書道

法令科目区分

中学校一種 国語	国語学(音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	国語学(音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	
	国文学(国文学史を含む。)	国文学(国文学史を含む。)	「国文学、漢文学」
	漢文学	漢文学	D
	書道(書写を中心とする。)		書道(書写を含む。) 書道史
高等学校一種 国語		高等学校一種 書道	
			B 「書論、鑑賞」 C

①教科に関する専門的事項

授 業 科 目	単 位	教 職			科目区分	開講年次	修得状況	
		中1 国語	高1 国語	高1 書道			修得年次	成績
○日本語学概論(文字・音声)	2	必	必	必	専門	1		
○日本語学概論(文法・語彙)	2	必	必	必	専門	1		
日本語の文法(現代)	2	選	選	選	専門	2		
日本語の文法(古典)	2	選	選	選	専門	2		
日本語の歴史(上代～中世)	2	選	選	選	専門	2		
日本語の歴史(近世～現代)	2	選	選	選	専門	2		
日本語学講読(基礎)	2	選	選	選	専門	1-2		
日本語学講読(応用)	2	選	選	選	専門	1-2		
○日本文学概論(基礎)	2	必	必	必	専門	2		
○日本文学概論(応用)	2	必	必	必	専門	2		
日本文学史(上代)	2	選	選	選	専門	1		
日本文学史(中古)	2	選	選	選	専門	1		
日本文学史(中世)	2	選	選	選	専門	2		
日本文学史(近世)	2	選	選	選	専門	2		
日本文学史(近代前期)	2	選	選	選	専門	3		
日本文学史(近代後期)	2	選	選	選	専門	3		
日本中古文化論(平安前期)	2	選	選	選	専門	3-4		
日本中古文化論(平安中後期)	2	選	選	選	専門	3-4		
日本中世文化論(鎌倉期)	2	選	選	選	専門	3-4		
日本中世文化論(室町期)	2	選	選	選	専門	3-4		
日本近世文化論(江戸前期)	2	選	選	選	専門	3-4		
日本近世文化論(江戸後期)	2	選	選	選	専門	3-4		
日本近代文化論(明治・大正期)	2	選	選	選	専門	3-4		
日本近代文化論(昭和戦前期)	2	選	選	選	専門	3-4		
日本近代文化論(昭和戦後期)	2	選	選	選	専門	3-4		
日本現代文化論(平成以降)	2	選	選	選	専門	3-4		
日本芸能史(前期)	2	選	選	選	専門	3-4		
日本芸能史(後期)	2	選	選	選	専門	3-4		
○漢文学概説(中国古典)	2	必	必	必	専門	1		
○漢文学概説(日本漢文)	2	必	必	必	専門	1		
日本漢文学史(古代、中世)	2	選	選	選	専門	3-4		
日本漢文学史(近世、近代)	2	選	選	選	専門	3-4		
○書道実習	2	必	必	必	専門	2-4		
書道の今昔	2	選	選	選	専門	2		
○書の歴史	2			必	専門	1		
書誌学	2			選	専門	3-4		
文字を学ぶ(候文を読む)	2			選	専門	2		
文字を学ぶ(くずし字を読む)	2			選	専門	2		
日本美術史(前期)	2			選	専門	3-4		
日本美術史(後期)	2			選	専門	3-4		
○書の名筆を学ぶ	2			必	専門	2-4		

教科に関する専門的事項 20単位以上修得

①必・選必の合計単位数 14 12 14
(20単位以上にするために、追加して修得必要な単位数) 6 8 6

②各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)

国語科教育論Ⅰ	2	必	必	必	教・資	2		
国語科教育論Ⅱ	2	必	必	必	教・資	2		
国語科指導法Ⅰ	2	必	必	必	教・資	3		
国語科指導法Ⅱ	2	必	必	必	教・資	3		
書道科教育論	2			必	教・資	2		
書道科指導法	2			必	教・資	3		

各教科の指導法 中1種免 8単位以上修得
高1種免 4単位以上修得

②各教科の指導法の合計単位数 8 8 4

文学部

文学科【国語・書道】